

19—23 OCTOBER 2026

WEEK **43**

NAGANI WEEKLY REVIEW

価格の先にある、供給と実行条件を読む。

ミャンマー週刊レビュー

24 OCT 2026 · 日本語版

01 / WEEK 43

食料は価格より、納品できる条件を

→

02 / WEEK 43

契約法人と配当条件を原文で確認

→

03 / WEEK 43

人材・往来は、事例と制度を分ける

→

19 OCT 00:00 — 23 OCT 23:59 MMT

日本語 / English / မြန်မာ

概念画像／実際の現場写真ではありません。

01 WEEKLY REVIEW

19-23 OCT 2026 · WEEK 43

目次

今週の結論と、確認すること	3
一週間の変化を追う	4
為替：確認できた区間だけを比べる	5
送金：受取方法ごとの履歴	6
商品：同じ公表系列でも限界がある	7
株式：金曜終値と前週を照合	8
食料調達：価格と供給量を分ける	9
同じ売上でも、調達費で利益は変わる	10
PwC：債権者集会の前に揃える資料	11
金曜夕方の追加：MTSH配当開示	12
日本のバス乗務：事例を採用計画へ変える前に	13
CNG：単価だけで運行採算を決めない	14
到着時観光ビザ：延長報道と搭乗条件	15
生活と事業の継続を確認する短報	16
PC納入・初期設定：30日の締切を確認	17
翌週：外部日程と確認の優先順位	18
必要な記事へ戻る	19

今週の結論と、確認すること



AI生成の概念画像／実際の会議・現場写真ではありません。

01 食料は価格より、納品できる条件を

油の供給制約と豆畑被害は別の経路で調達を圧迫。現物・品質・納期を揃えて比較する。



02 契約法人と配当条件を原文で確認

PwC該当法人は30日に債権者集会。MTSHは23日夕方に配当を開示。手続の告知と実際の入金を分ける。



03 人材・往来は、事例と制度を分ける

日本のバス乗務開始と到着時観光ビザ延長報道を点検。資格・費用・渡航条件を確認するまで、採用や旅行の確約に使わない。



03 WEEKLY REVIEW

19-23 OCT 2026・WEEK 43

一週間の変化を追う

対象：10月19日00:00～23日23:59 MMT。10月24日号として10月25日に制作・確認。週末の後日情報は、当週の新展開へ混ぜていません。

公表日	案件	時間軸
19 Oct	ASPGB支払日・放棄開示	17日総会から続報
20 Oct	PwC債権者集会公示	会議は30日
21 Oct	豆畑被害・医療アクセス	被害発生と報道日を区別
22 Oct	日本のバス乗務報道	乗務開始は19日
23 Oct	MTSH配当・ビザ延長報道	日次後の開示を補完

前週は燃料と為替の方向の違い、計画と利用可能性を整理した。今週は食料の供給制約・債権手続・具体的な配当開示が加わった。前週の見立てを価格だけで更新せず、納品や入金を確認できる証拠に置き換える。

日次5号は延べ31掲載（監視1件含む）、ASPGB続報をまとめて30案件。本文記事は延べ30件・29案件。相場・翻訳・索引は件数外。公表日が対象週の掲載は25、週前は6。新規補完はMTSHとビザの2案件。ASPGB、PC公募などは継続として扱う。

04 WEEKLY REVIEW

19-23 OCT 2026 ・ WEEK 43

為替：確認できた区間だけを比べる

2026	USD Buy	USD Sell	JPY Buy	JPY Sell
19 Oct	4,520	4,620	28.66	29.41
20 Oct	4,530	4,630	28.56	29.26
21-23 Oct	—	—	—	—

MMK/1 USD ・ 1 JPY。Market Rate Plusの表示更新日別の保存済み観測値。21～23日は当該日付の値を確認できず欠測。金曜値が揃わないため週間騰落率は算出しない。店頭での実行価格・原店舗は未確認。

19→20日の公表Sell差はUSDが+10MMK、JPYが-0.15MMK。これは1日分の観測差であり、実取引の利益ではない。買付代金をドルで払う企業と、円を送る家計では見るべき方向も違う。

週外の確認：25日の再確認では表示日は24日、USD 4,600/4,700、JPY 29.19/29.92 (Buy/Sell)。この土曜値を金曜値として補完していない。

[fx ↗](#)

05 WEEKLY REVIEW

19-23 OCT 2026 ・ WEEK 43

送金：受取方法ごとの履歴

2026	現金	銀行口座	電子ウォレット
19 Oct	25.0810	25.1264	25.1744
20 Oct	24.9703	25.0155	25.0633
21 Oct	25.0082	25.0535	25.1013
22 Oct	25.0200	25.0500	25.1800
23 Oct	25.3119	25.3577	25.4061

Kyodai公式の保存済み日次観測値、MMK/1 JPY。表示時間帯・送金額別条件・手数料が一致する実取引比較ではないため、週間受取増益とは呼ばない。処理時のレートと実受取額を別途確認する。

[ky](#) ↗

CBM ・ 22 OCT 2026

CBMの22日付原表：USD参考2,100／市場基準3,660MMK。JPY100参考1,335.62／市場基準2,327.80MMK。1円換算は13.3562／23.2780。確認できた最終日を示し、23日値や送金価格へ置き換えない。

[cbm](#) ↗

06 WEEKLY REVIEW

19-23 OCT 2026 ・ WEEK 43

商品：同じ公表系列でも限界がある

系列	元単位	19 Oct	23 Oct
金24K	MMK/tical	7,100,000	7,100,000
米 Emata Medium / Sinthwe Old	MMK/pyi	4,800	4,800
米 ShweBo Pawsan Medium / Old	MMK/pyi	8,500	8,500
ヤンゴン92	MMK/gallon	21,173	21,218
ヤンゴン軽油（非プレミアム）	MMK/gallon	20,183	20,003
パーム油（容器除外）	MMK/viss	7,769	7,900

CSOの同一定義・元単位で19日と23日を比較。金はShwe Bon Thar Street、売買方向不明。米は小売平均、燃料はヤンゴン地域参考値。パーム油は容器を含まない計量区分。店舗の実売・決済条件は未確認。

分析：19→23日で92ガソリンは+45MMK/ガロン（+0.21%）、通常軽油は-180（-0.89%）、パーム油は+131MMK/viss（+1.69%）。金・掲載2種の米は同値。CSOの油とDVBの市場報道は品質・数量・調査条件が揃わず直接比較しない。購買では等級・数量・納入地点・運賃・支払条件を揃えて新見積りを確認する。

[CSO](#) ↗

07 WEEKLY REVIEW

19-23 OCT 2026 ・ WEEK 43

株式：金曜終値と前週を照合

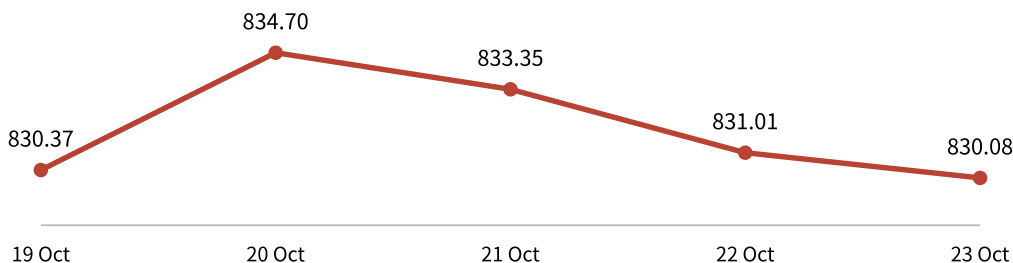
23 OCT ・ MAIN BOARD

830.08

16 → 23 OCT

-1.31%

MYANPIX ・ Main Board ・ 13:00 MMT



YSX Main Board、各営業日13:00 MMT。19日830.37→23日830.08は-0.29ポイント（-0.03%）。前週金曜16日841.09→23日830.08は-11.01ポイント（-1.31%）。期間を区別する。

23日のMain売買は18,015株・100,551,050MMK。Pre-Listingは別市場で、合算してMainの流動性とはしない。分析：指数の小幅変化でも個別株の注文成立は別問題。配当を理由に買う前に、権利日・株数基準・売買可能性を開示と注文条件で確認する。

[ysx](#) ↗

国債

国債の当週価格・新しい一次入札結果は未確認。過去の表面利率や入札利回りを、当週の取引価格や投資収益として転載しない。

食料調達：価格と供給量を分ける

事実 | 19日・21日の報道

DVBは19日、ヤンゴンのパーム油価格と輸入・配給制約を報道。21日はMyaungmya・Einmeの豆畑被害を農家の説明として報じた。全国の不足率や同条件の価格上昇率は確認できない。

分析 | 飲食・加工・小売への連鎖

油は日々の調理原価、豆は在庫と将来の収穫・納期に影響する。安い見積りでも数量を確保できなければ代替調達が必要になる。輸入制約と天候被害は原因が違い、一つの「物価高」でまとめると対策を誤る。

確認の提案

①現物と将来収穫分を分ける。②等級・含水率・異物・検査方法を揃える。③運賃込み価格、分納、遅延・不適合時の扱いを文書化する。裏付けのない先渡し分への前払いは保留を検討する。

[DVB・19 Oct ↗](#)・[DVB・21 Oct ↗](#)

同じ売上でも、調達費で利益は変わる

仮定計算 | 実績・予測ではない

売上1,000,000MMK、食材300,000、その他変動費200,000、固定費400,000なら残額は100,000。食材だけ10%上がれば330,000となり、残額は70,000へ30%減る。税・金融費用は含めていない。

判断を変える条件

仕入量・歩留まり・廃棄・客数を測るまでは、値上げ幅や利益を確約しない。代替原料で品質や使用量が変われば、単価が安くても一食当たり原価は下がらない。まず一つのメニュー・製品で実測する。

米：投入資金から販売条件まで

事実 | 資金・面積は別指標

GNLM23日報道のMRF資金32.5億MMKは、種粳回転資金12.5億、種子事業10億、研究農場等10億。22日のバギー作付報道も、作付面積と収穫済面積を区別している。いずれも精米在庫や販売成約を直接示さない。

分析 | 前週から一段具体化する

前週の「資金・記録・保管をつなぐ」という論点に、資金の用途内訳が加わった。買い手は収穫→乾燥→精米→等級検査→引渡しを追い、同じPawsan名でも品種・産地・年度・品質が合うか確かめる。認証義務の新設とは扱わない。

[GNLM · 23 Oct, pp.1-4 ↗](#) · [GNLM · 22 Oct ↗](#)

PwC：債権者集会の前に揃える資料

原公示 | 10月20日

Myanma Alinnの公示はPwC Consulting Myanmar Company Limited（登録110266618）の債権者集会を10月30日10:00、オンライン開催と記載。時間帯・書類提出締切は未確認。清算完了や回収率の告知ではない。

分析 | ブランド名では足りない

契約法人が違えば、この公示の適用をそのまま移せない。顧客にとっては未完了成果物・預けた資料・税務等の外部期限、債権者にとっては請求根拠と提出方法が優先になる。相手方の手続が自社の申告期限を延ばすとは限らない。

提案 | 30日より前に

法人名・登録番号→契約・請求書→債権証明・代理書式→提出先・時間帯・受領確認の順に整理する。不明な書式・期限は窓口へ確認し、回収見込みを売上や資金繰りへ確定計上しない。

[Myanma Alinn・20 Oct, p.29 ↗](#)

金曜夕方の追加：MTSH配当開示

新規補完 | 一次開示

YSX掲載の23日開示は、MTSH第13回総会の決議承認と、1株150MMKを11月5日から分配すると記載。詳細は後日案内予定。金曜朝の日次号後の開示を週刊で補完した。権利確定日や本人の受給資格はこの文書だけで確定しない。

継続 | ASPGBは別案件

ASPGBは17日の総会、19日の支払日・配当放棄の開示を一案件として追跡。旧株・分割後株の基準と放棄対象を照合せず、表示株数に配当額を掛けない。MTSHの150MMKと混同せず、実入金とは別途確認する。

[MTSH / YSX ・ 23 Oct, pp.1-2 ↗](#) ・ [ASPGB / YSX ・ 19 Oct ↗](#)

日本のバス乗務：事例を採用計画へ変える前に

事実と一般制度

DVBは22日、ミャンマー出身者が19日に富士急静岡バスで乗務を開始したと報道。本人の在留資格・賃金は未確認。一般に特定技能のバスは評価試験、第二種免許、新任運転者研修、N3以上が必要と入管庁が案内している。

分析 | 採用までの費用と時間

前週の出国関連リスクに加え、今週の事例は日本側の訓練・免許・実務支援を確認する入口になる。紹介人数を先に約束するより、免許取得までの期間、再受験、研修中の待遇、住居を求人単位で確認したい。

続行・保留条件 | 提案

求人票と契約、適用資格、費用負担が一致すれば個別の準備を進める。免許取得失敗時の扱いや研修期間が不明なら採用日を確認しない。個人の成功例を、全候補者の合格率・利益・需要へ拡張しない。

[DVB · 22 Oct ↗](#) · [Immigration Services Agency ↗](#)

CNG：単価だけで運行採算を決めない

公表内容 | 23日

GNLMは当局説明として、ヤンゴン41拠点、04:00～23:00、回数制限なし、日量2,600万立方フィート、273.25MMK/kgを報道。店頭の圧力・待ち時間・実売は未確認。新たな値下げを示す数字ではない。

分析と仮定計算

仮に20kgなら燃料5,465MMK。待機1時間で3,000MMKの限界利益を失うと仮定すれば、合計影響は8,465MMK。3,000は仮置きで実績ではない。配車判断には同じ車両の燃料量・走行距離・待機時間を記録する。

関連する計画は別管理

タイとのエネルギー協議やDatangの新規発電計画は、今週の報道があっても供給開始の証明ではない。設備投資を判断する際は、契約・建設・接続・試運転・商用運転のどの段階かを確認する。

[GNLM · 23 Oct, pp.1-4 ↗](#) · [GNLM · 20 Oct ↗](#) · [GNLM · 21 Oct ↗](#)

到着時観光ビザ：延長報道と搭乗条件

週刊で補完 | 23日の報道

Elevenは23日、日本・韓国・マカオから空路で来訪する観光客向け措置が2026年10月21日～2027年10月20日へ延長されたと報道。MYANMAR JAPONにも同趣旨の見出しがあるが、有料全文は未取得。

未確認と分析

確認した観光省の一般案内は2025年開始の旧期間を表示していた。更新原通知・対象空港・必要書類を航空会社と入管の現行案内で再確認する必要がある。観光用の入国制度を就労許可や安全改善と読み替えない。

[Eleven · 23 Oct ↗](#) · [Ministry of Culture, Hotels and Tourism ↗](#)

生活と事業の継続を確認する短報

医療 | 地域の復旧と到達可能性

DVB21日報道はラウンロンの医療・搬入障害を救援側の説明として伝える。背景の洪水は9月24～27日で、今週の新規洪水ではない。訪問・配送は当日の経路、受入先、水、医療への移動手段を確認する。

建設 | Aung San競技場

GNLM22日報道の改修は2023年開始の計画。完成時期は未確定。周辺需要を席数だけで見積もらず、完成・運営者・利用条件の公表を待つ。

政治・制裁 | 接触と解除を分ける

22日のスーチー氏と次男の通話は、釈放や取引制限解除の証明ではない。英国の追加指定を巡る批判とも区別する。英国公式一覧には2026年2月10日の指定訂正があり、「更新が一切ない」とは書けない。

[DVB ・ 21 Oct ↗](#) ・ [GNLM ・ 22 Oct ↗](#) ・ [AP ・ 22 Oct ↗](#) ・ [UK Government ・ 10 Feb correction ↗](#)

PC納入・初期設定：30日の締切を確認

継続公募 | 原案内は15日

ヤンゴン日本文化センターの業務用PC購入・初期設定・配送公募は10月30日17:00締切、時間帯未記載。納入期限は2027年1月31日。仕様書・Kitting Manualはメール配布で未取得。数量・追加資格・検収条件を推測しない。

分析・提案 | 本体価格だけで応札しない

36か月保証、初期設定、配送、税・手数料を積み上げ、為替変動と調達遅延の負担を確認する。仕様・支払・検収が不明なら見積りを確約しない。本誌から仕様請求・応募は行っていない。

[Japan Foundation Yangon・15 Oct ↗](#)

翌週：外部日程と確認の優先順位

10月30日10:00 | PwC該当法人

債権者集会。時間帯と提出書類の締切は未確認。会議時刻を提出期限へ置き換えない。法人・債権資料・参加方法の照合を優先する。

11月4日・5日 | 次の予定

日本大使館は11月4日の留学相談を案内。参加条件は原案内を確認。MTSHは11月5日から配当予定、詳細開示待ち。いずれも翌週中の締切とは表示しない。

終了・未確認を残す

20・21日のKyodai一部窓口休止、23日締切のProbe調達候補は経過済み。後者は原公示未取得のため延長を推測しない。雨・通行・医療・通信の状態は出発や発注直前に更新して確認する。

[Myanma Alinn · 20 Oct, p.29 ↗](#) · [Embassy of Japan · 19 Oct ↗](#) · [MTSH / YSX · 23 Oct, pp.1-2 ↗](#) · [Myanmar National Portal ↗](#)

必要な記事へ戻る

01  政治・国際関係・安全  p.16	02  経済・金融・市場  p.5
03  法律・税務・規制  p.11	04  不動産・建設・都市開発  p.16
05  人材・雇用・教育  p.13	06  AI・IT・通信  p.17
07  エネルギー・資源・公益インフラ  p.14	08  製造業・自動車・小売  —
09  貿易・物流・交通  —	10  農業・水産・食品  p.9
11  医療・保健  p.16	12  観光・ホテル・飲食  p.15

「—」は本号に独立記事なし。ニュースがないという意味ではありません。

編集注記と読者の確認事項

暮らし・安全	日本との関係	企業の動き	気象・災害	イベント・募集・締切
------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------

12カテゴリーと5横断タグで探索。NNA・MYANMAR JAPONの公開一覧を確認し、有料本文は確認済みとしない。独自の現地取材は未実施。法令原文・入札付属書・金曜の一部相場は未確認。未取得を「ニュースなし」としない。日本語・英語・ミャンマー語を別ファイルで提供。